

CLIPPEDIMAGE= JP363291538A
PAT-NO: JP363291538A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 63291538 A
TITLE: EDIBLE BOOK FOR EATING WHILE READING

PUBN-DATE: November 29, 1988

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
ADACHI, ITARU

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME
KK BINSHIYOO

COUNTRY
N/A

APPL-NO: JP62125164
APPL-DATE: May 21, 1987

INT-CL (IPC): A23G003/00; A23L001/00
US-CL-CURRENT: 426/660

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain the titled edible book capable of remarkably enhancing learning effects, by combining plural sheets of edible film or sheetlike food in which pictures, letters, patterns, etc., are handwritten or printed according to purposes, such as picture book or traveler's handbook.

CONSTITUTION: The aimed edible book obtained by combining plural sheets of edible films or biscuits, Japanese crackers, potato chips, popcorn, etc., in which pictures, letters, patterns, etc., are handwritten or printed according to purposes, such as picture book, stylebook, traveler's handbook, wordbook or study book. Furthermore, the above-mentioned edible film is preferably added to the afore-mentioned sheetlike food and the above-mentioned edible film is preferably pullulan.

COPYRIGHT: (C)1988, JPO&Japio

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-291538

⑤ Int.Cl.⁴A 23 G 3/00
A 23 L 1/00

識別記号

庁内整理番号

8114-4B
B-7235-4B

④ 公開 昭和63年(1988)11月29日

審査請求 有 発明の数 1 (全3頁)

⑬ 発明の名称 読みながら食べる食本

⑭ 特 願 昭62-125164

⑮ 出 願 昭62(1987)5月21日

⑯ 発 明 者 足 立 至 広島県福山市日吉台86
⑰ 出 願 人 株式会社 ビンショー 広島県福山市曙町2丁目193番地
⑱ 代 理 人 弁理士 悴熊 弘稔

明 細 書

1. 発明の名称 読みながら食べる食本

2. 特許請求の範囲

(1) 特定目的(絵本、スタイルブック、旅行案内書、単語集、学習書等)に応じ、絵、文字、図型等の手書もしくは印刷処理した可食性フィルムまたはシート状食品の複数枚を組合せてセットに構成したことを特徴とする読みながら食べる食本。

(2) 手書もしくは印刷処理した可食性フィルムをシート状食品に添着することを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の読みながら食べる食本。

(3) 可食性フィルムがアルワンであることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の読みながら食べる食本。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は菓子用もしくはスナック用に供される。

(従来技術)

近年のインスタント食品の加工技術の進歩は目ざましく、食品のもつ特有のフレーバーを保持した食味のよい成形加工製品が市販されている。

一方、バレンタインチョコ等のファンシー志向の菓子類や、ポテトチップス、ポップコーン等粉末原料より定形に成形加工されたスナック食品も量産されている。しかしながら、従来の製品は単に色彩や形状等の装飾的な特色を求めたものに過ぎない。

(発明が解決しようとする問題点)

本発明は、いわゆるインスタント食品が保有する手軽さ、保存性に加え例えば幼児のオモチャのような消費者に夢を与えたり、旅行案内書、もしくは旅行記を読みながらその土地土地の特産物等を同時に食べることによつてより臨場感を高めるための食本、あるいは学習書等の暗記用の文字や図型が印刷された食本を提供せんとするものである。

すなわち、本発明は特定目的（絵本、スタイルブック、旅行案内書、単語集、学習書等）に応じ、絵、文字、図型などの手書きもしくは印刷処理した可食性フィルムもしくはシート状食品の複数枚を組合わせてセットに構成したことを特徴とする読みながら食べる食本である。

（問題点を解決するための手段）

シート状食品としては、ビスケット類、せんべい、ポテトチップス、ポップコーン、ノシカ、クレープ等のシート形状の乾燥食品を用いてもよいが、薄膜形式性のプルラン、アルギン酸等の植物性繊維、全卵、卵白、卵黄、ラクトアルブミン、ゼラチン等の動物性蛋白質、グルテン、大豆蛋白等の植物性蛋白質に、果実、野菜、魚介類、畜肉類、卵類、乳製品、酒類、および以上のエキス類、色素、香料、香辛料、栄養強化剤等を適宜添加することにより特徴あるシート状食品と成すことが出来る。

提供するものである。

以下本発明品について実施例により詳細に説明する。

実施例 1

幼児絵本、スタイルブック等の娯楽性が求められる食本に対しては、フルーツ系、卵系、乳製品を主材料とするが、幼児が好むリンゴのイメージに合わせて作成された食本の一例を以下に示す。

第一組成

リンゴジュース 50 部

植物性繊維 5 部 砂糖 20 部

第二組成

海藻抽出物 2 部 乳製品 10 部

動物性蛋白質 5 部 水 50 部

第一組成物および第二組成物を別々に 90℃ 10 分間加熱溶解したのち、約 60℃ に冷却して混合する。つぎに、0.5 ないし 2 mm の厚さのシート状に成型して冷却したのち、水分を 15% 程度に乾燥調整し、5.5 × 90 mm に裁断

かかるシート状食品に対する印刷方法としては、常用の食用色素を溶かした上記薄膜形成性高分子の希薄液を印刷もしくは絵布し焼付ける方法、あらかじめプルラン、オブラート、卵白、ラクトアルブミン、大豆蛋白、ゼラチン等の可食性フィルムに印刷もしくは着色し、これを上記のシート状食品へ添着する方法が挙げられる。

かように着色加工された可食性フィルムもしくはシート状食品の複数枚を組合わせてセットに構成する方法としては、シート状食品等の一端に小孔を設け、リボン等により綴る方法、例えばフィルム包装に写真を投入してなるアルバム様に、シート状食品等の複数枚をセットに構成する方法、シート状食品等を包装箱に重積して組物とする方法等を挙げることが出来る。

しかして、上記構成品の發着としての使用目的もしくは内容に応じ、楽しみを与えたり、学習を行いながら食べることの出来る食本を

して常用の焼付刻印することにより絵画を印刷する。

かかるシート状食品の裏面に話の内容を印刷して包装紙に入れ、5 ないし 10 枚数の絵本に製本する。

実施例 2

暗記を目的とした単語帳、数学や物理の公式集、年表、学習書等が印刷された食本の場合には、この字句を印刷した可食性フィルムをフルーツ系や刺激性のあるペパーミント、シナモン等の香料を混ぜたシート状食品の表面に添着させる。

かかる食本の製造法の一例を以下に開示する。

第一組成

レモン果汁 50 部 植物性繊維 10 部

砂糖 20 部

第二組成

海藻抽出物 3 部 動物性蛋白質 10 部

植物性蛋白質 5 部 栄養強化剤 少々

水 50 部

第一組成物および第二組成物を個々に90℃10分間加熱溶解させたのち、約60℃に冷却して混合する。

かかる混合物を1～2mmの厚さのシート状に成型して冷却した^のち、水分を15%程度に乾燥して55×90mm角に裁断し、あらかじめ食用色素にて英単語が印刷されたプルランフィルムを添着して製本となす。これはガム様の食感を有し咀嚼に長時間を要するので暗記に適したシートとなる。

実施例3

旅行パーティー等に携行して、旅をより楽しくさせることを目的とした食本の一例を以下に開示する。

第一組成

魚 肉	100 部	ウ ニ	40 部
澱 粉	10 部	植物性蛋白質	5 部
調味料	5 部	塩	2 部

魚肉として、鯛もしくはスケトウダラ掘り

さらに本発明の食本は、栄養のバランスを考慮したものであるため、幼児や子供が嫌やがる海藻、野菜等を挟んで食べさせる効果がある。

また、旅行案内書や旅行記等が印刷された食本の場合には、その土地の産物や土産物の乾物もしくは偽似食品によつて構成し、より臨場感を高め、旅をより楽しくさせる効果がある。

身に食塩を添加して粘稠状となし、ウニその他の副原料を添加して混合する。ついでドラム成型機にて1～2mmの厚さに成型し、加熱乾燥して水分を18%程度とし、55×86mmのカード状に裁断する。このカード状食品に対し、あらかじめクイズや小話等を印刷したプルランフィルムを添着する。

(発明の効果)

本発明の食本によれば、学習効果が著しく高まることが分つた。

例えば、文字を覚えさせるため、4才の幼児に本発明の食本を与えたところ、極めて強い興味を示し、進んで文字を覚えるようになった。これは通常の印刷物の視覚刺激の他に、嗅覚や食覚に刺激を与え、かつ食欲を満足させたためと思われる。

同様の学習効果は、学童や学習者に対する単語集、学習書等においても認められ、五感に刺激を与えることにより、記憶を確実にするものである。

特許出願人 株式会社 ビンヨー
代理人 加藤 伸 熊 (印)